



**第68期 中間報告書**

**2020年3月期**

2019.4.1 ▶ 2019.9.30

Global Supplier



新たな価値を創造し、  
世界のお客様から信頼される  
会社を実現してまいります。

代表取締役社長  
柴崎 衛

平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期の世界経済は、米中貿易摩擦の長期化による両国の経済減速と欧州における景気低迷により、全体として成長率は鈍化しました。また、わが国経済も、世界経済の減速影響を受け、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、国内では一部完成車メーカーの減産がありました。国内全体の生産台数は堅調に推移しました。また、海外生産では、米州と欧州での減産影響が大きく、生産台数は減少しました。

このような状況下、当社グループでは積極的な事業展開により業績の拡大に取り組んでまいりましたが、連結売上高は、国内では当社の主要得意先である商用車メーカーのアジア市場での需要減による減産や特定部品の生産終了、海外では米州、

欧州での日系自動車メーカーの販売減による減産と中国市場における受注競争の激化、為替換算の影響により、前年同期比減収となりました。また、連結営業利益においても、各地域での売上減少及び米州における鉄鋼関税引上げを含む原材料費の上昇や、中国及び英国での現地通貨安による仕入コスト上昇の影響もあり、前年同期を下回る業績となりました。

当社グループは、引き続きグローバルサプライヤーとして、「ファクトリー&ファブレス」機能を最大限に活用し、業績の拡大と経営基盤の強化に取り組んでまいります。

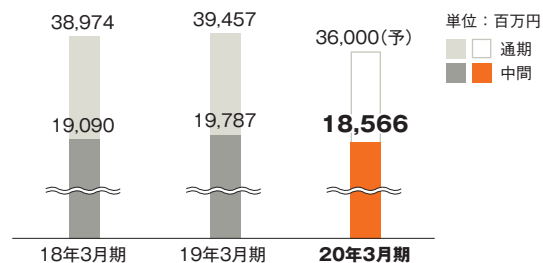
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年12月

# 連結財務ハイライト | Consolidated Financial Highlight

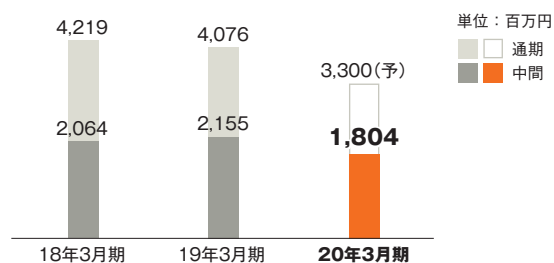
## 連結売上高

18,566 百万円 | 前年同期比:6.2%減



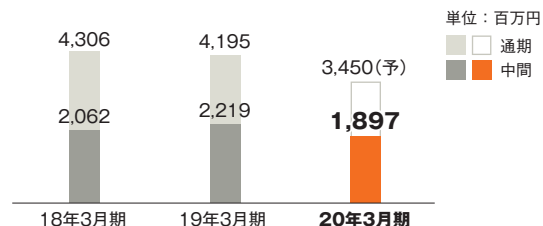
## 連結営業利益

1,804 百万円 | 前年同期比:16.3%減



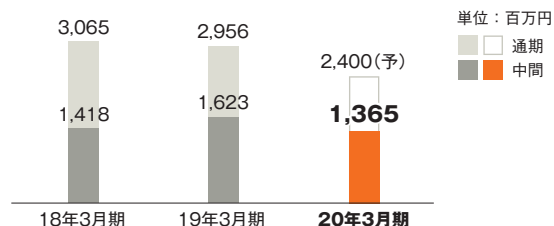
## 連結経常利益

1,897 百万円 | 前年同期比:14.5%減



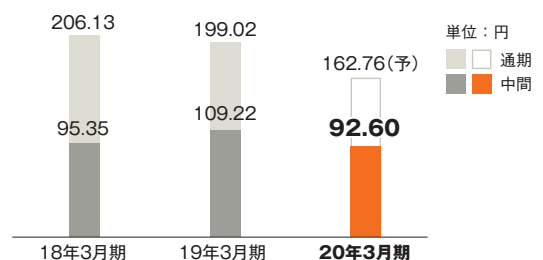
## 連結親会社株主に帰属する四半期純利益

1,365 百万円 | 前年同期比:15.9%減



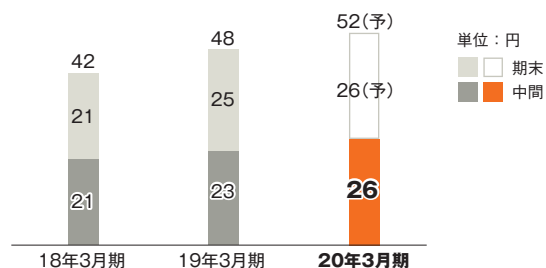
## 1株当たり四半期純利益

92.60 円 | 前年同期比:15.2%減



## 1株当たり配当金

26 円 | 前年同期比:3円増



## 連結財務諸表の要旨 | Consolidated Financial Statements

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2019年9月30日	前期末 2019年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	33,034	33,158
固定資産	8,859	8,753
資産合計	41,894	41,912
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,765	10,555
固定負債	834	675
負債合計	10,600	11,230
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,190	29,195
その他の包括利益累計額	693	1,069
非支配株主持分	409	415
純資産合計	31,293	30,681
負債純資産合計	41,894	41,912

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	前第2四半期累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日
売上高	18,566	19,787
売上原価	14,037	14,770
売上総利益	4,529	5,017
販売費及び一般管理費	2,725	2,861
営業利益	1,804	2,155
営業外収益	134	113
営業外費用	41	49
経常利益	1,897	2,219
特別利益	0	6
特別損失	0	3
税金等調整前四半期純利益	1,896	2,222
法人税等	519	589
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,365	1,623

### 中間配当金について

2019年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主の皆様に対し次のとおり中間配当金をお支払いします。

**1. 中間配当金** 1株につき26円

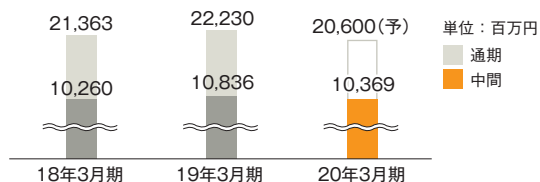
**2. 支払い開始日** 2019年12月3日(火)

## 地域別売上高 | Sales by Geographical Segment

### 日本の売上高

10,369百万円 | 前年同期比:4.3%減

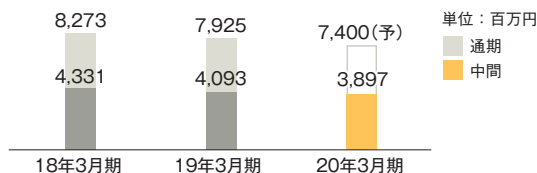
主要商用車メーカーのアジア市場での需要減による生産減少等の影響を受け、売上高は103億6千9百万円(前年同期比4.3%減)となりました。



### 米州の売上高

3,897百万円 | 前年同期比:4.8%減

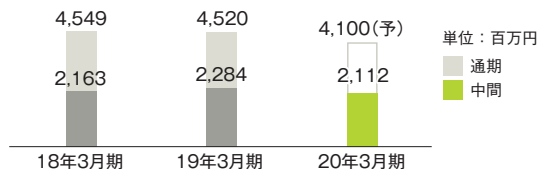
米国、メキシコでの新規受注はあったものの、米国での日系自動車メーカーの生産減少の影響を受け、売上高は38億9千7百万円(前年同期比4.8%減)となりました。



### 中国の売上高

2,112百万円 | 前年同期比:7.5%減

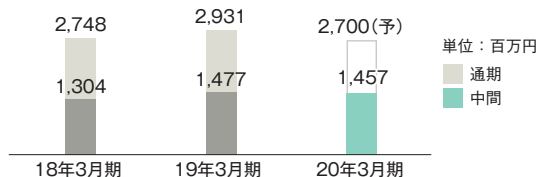
日系自動車メーカーの生産は堅調に推移したものの、受注競争の激化と為替の円高影響が大きく、売上高は21億1千2百万円(前年同期比7.5%減)となりました。



### アセアンの売上高

1,457百万円 | 前年同期比:1.4%減

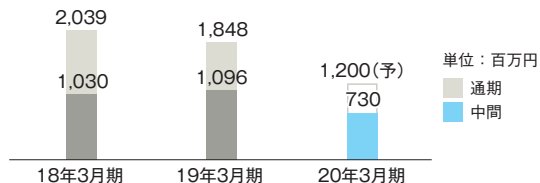
日系自動車メーカーの生産減少の影響を受け、売上高は14億5千7百万円(前年同期比1.4%減)となりました。



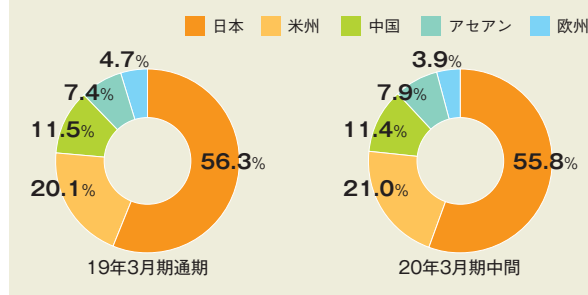
### 欧州の売上高

730百万円 | 前年同期比:33.4%減

日系自動車メーカーの大幅な生産減少に加え、為替の円高影響もあり、売上高は7億3千万円(前年同期比33.4%減)となりました。



### 地域別売上高構成比







## 柴崎社長に聞く

代表取締役社長  
柴崎 衛

### Q 今期の業績動向は？

**A** 上半期の世界経済は、米中の貿易摩擦や英国の欧州連合離脱問題などリスクが存在しています。自動車業界は、中国経済の悪化による需要減少や北米の伸び悩みで、生産と利益の両面に影響が出ています。欧州では日系自動車メーカーの英国での生産縮小・撤退もあり、英国事業の継続性や欧州大陸でのビジネスの可能性など市場調査を進めているところです。

依然として世界経済の先行きは不透明ですが、当社では開発・製造機能の強化と海外生産の拡大、ファブレス機能による戦略的調達3つの基本方針を変えることなく進めており、社内では2021年度に売上高500億円とする目標を全社員で共有しています。

### Q 売上高100億円を現状からどう増やすつもりですか？

**A** 自社グループの製造機能を強化します。国内製造子会社の鈴鹿工場では、生産能力の増強や自動化による効率化を進めており、第2工場の建設計画も今年度中には固める予定です。

米国、中国、タイの主要海外拠点でも冷間圧造や精密切削、精密プレスなど国内と同様の生産体制を整備して新たな受注に繋げていく計画を推進中です。

更に、資本提携先の設備投資などの支援を行うことで、グループ全体で生産体制の強化を図り、2022年度までに売上高に占めるグループ製造部門の比率を、現状の25%から40%まで引き上げることを目標としています。



**Q** 独自加工技術の  
適用拡大に向けた開発は？

**A** 金属同士を接合する「圧入プロジェクション技術」を提案しています。

この技術は溶接よりも接合部の強度が高く、コストメリットもあり、適用部品のコンパクトな設計が可能となります。

トランスミッション部品のシフトコントロールやオイルポンプ部品のスプロケットでの採用拡大や、そのほかの用途でも適用を見込んでいます。電動化部品のアクチュエーターでも高強度化に対する反応が良く、売上げにも大きく貢献すると期待しています。

また、市場調査の専門組織を中心として加工技術の市場ニーズの把握に努めています。例えば、電動化で搭載数が拡大するモーターに適用できる技術を模索中です。モーターは需要の拡大に伴い、リードタイムの短縮が求められます。そうした課題に対して切削レスのプレス加工や圧造加工の技術を活かしたいと考えています。

今後も用途の拡大に向けて開発を推進してまいります。

**Q** 自社で開発・製造機能を強化しているが、  
調達先との関係は？

**A** メーカーなどが求めるニーズは多様化しています。自動車の世界生産台数もますます増加するなか、こうした需要をカバーするために調達先は必須の存在であり、多種多様な品揃えで他社との差別化を図ってまいります。

優れた技術を持つ調達先との関係強化を図ることは、今後も事業の基本方針の一つであり、調達先各社が持つ特有の技術へのニーズの高まりや今後のビジョンを共有することができれば、資本提携などで互いのパイプを太くしていきたいと考えています。

当社は今年で創立68年を迎えますが、技術開発、グローバルでの拠点拡大、製造機能の拡充、人材確保などに積極的に取り組み、次の50年ひいては100年もチャレンジし続けるための底力を蓄えてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# グローバル事業拠点 | Network



**OHASHI TECHNICA UK, LTD.**  
英国ウィルトシャー州スウィンドン  
自動車関連部品の販売



株式会社  
オーハシテクニカ  
東京都港区  
自動車関連部品、  
情報通信関連部品  
等の販売



オーハシ技研工業株式会社  
愛知県東海市  
自動車関連部品の  
製造・販売



**OHASHI TECHNICA U.S.A., INC.**  
米国オハイオ州サンバリー  
自動車関連部品の販売



株式会社  
オーハシロジスティクス  
東京都国立市  
物流事業



**OHASHI TECHNICA U.S.A. MANUFACTURING, INC.**  
米国オハイオ州サンバリー  
自動車関連部品の製造



**OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO., LTD.**  
タイ国サムットプラカーン  
自動車関連部品の製造・販売



**OHASHI SATO (THAILAND) CO., LTD.**  
タイ国プラチンブリ  
自動車関連部品の製造



台湾大橋精密股份有限公司  
台湾高雄市  
自動車関連部品の調達、販売



**OHASHI TECHNICA MEXICO, S.A. DE C.V.**  
メキシコ国グアナファト州  
自動車関連部品の販売



**OHASHI NAKAHO U.S.A., INC.**  
米国オハイオ州サンバリー  
自動車関連部品の製造



大橋精密件 (上海) 有限公司  
中国上海市  
自動車関連部品の販売



大橋精密件製造 (広州) 有限公司  
中国広州市  
自動車関連部品の製造



広州大中精密件有限公司  
中国広州市  
自動車関連部品の製造・販売



大橋精密電子 (上海) 有限公司  
中国上海市  
情報通信関連部品等の製造・販売

## 会社概要

社名	株式会社オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル10階
設立	1953年（昭和28年）3月12日
資本金	18億2,567万円
従業員数	グループ合計 786名
連結子会社	国内2社、海外12社
持分法適用関連会社	国内2社
主な事業内容	①自動車関連部品等の製造・販売、 及び加工技術開発 ②物流業務並びに輸出入業務

## 取締役

代表取締役社長	柴崎 衛
取締役	中村 佳二
取締役	古性 雅人
取締役(監査等委員)	伊田 和浩
社外取締役(監査等委員)	三好 徹
社外取締役(監査等委員)	新妻 幹夫

## 執行役員

執行役員	廣瀬 正也
執行役員	堀 正人
執行役員	正木 聖二
執行役員	立岩 光
執行役員	大石 尚代

## 株式情報

### 株式数及び株主数

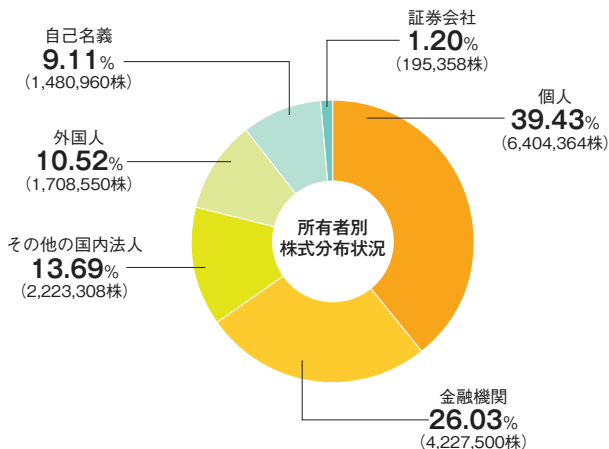
発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式総数	16,240,040株
株主数	6,665名

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
オーハシテクニカ取引先持株会	1,523,000	9.37
株式会社みずほ銀行	737,700	4.54
日本生命保険相互会社	660,000	4.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	631,600	3.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	629,400	3.87
阿部 泰三	486,600	2.99
MSCO CUSTOMER SECURITIES	370,300	2.28
大橋 玲子	353,700	2.17
明治安田生命保険相互会社	340,000	2.09
株式会社佐賀鉄工所	305,600	1.88

(注)当社は自己株式1,480,960株を保有しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	下記ホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.ohashi.co.jp">https://www.ohashi.co.jp</a>

住所変更、単元未満株式の 買取のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開 設されました株主様は、特別口座の口座管理機 関である三井住友信託銀行株式会社にお申出 ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式 会社にお申出ください。
配当金計算書について	配当金お支払いの際にご送付しております「配 当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づ く「支払通知書」を兼ねております。確定申告を 行う際は、その添付資料としてご使用いただく ことができます。確定申告をなされる株主様は 大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただ いている株主様につきましては、源泉徴収額の 計算は証券会社等にて行われます。確定申告を 行う際の添付資料につきましては、お取引の証 券会社にご確認をお願いします。

### 株主優待のご案内

当社では、株主の皆様へ感謝の意を示すとともに、長期的なご支援をいた  
だけるよう、株主優待を実施しています。

100株以上保有の全株主様に、保有数に応じた枚数のおこめ  
券を年に2回お届けしています。

また、2008年からは長期保有優遇制度も導入いたして  
おり、3年以上継続保有の株主様に対しては、更におこめ  
券を1枚(1kg)追加進呈しております。



### ～株主優待の内容～ おこめ券を進呈

100株以上	1枚 (1kg)
1,000株以上	3枚 (3kg)
10,000株以上	5枚 (5kg)

※3年以上継続保有の株主様に対しては、更にもう1枚を  
追加進呈いたしております。

割当基準日	3月末日・9月末日
優待回数	年2回

## 株式会社オーハシテクニカ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号  
ヒューリック神谷町ビル10階

TEL. 03-5404-4411 (代)

IRに関してのお問い合わせ：ir@ohashi.co.jp

<https://www.ohashi.co.jp>



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

